

北信建設事務所 照明LED化事業による整備効果

(一) 奥志賀公園線 山ノ内町 志賀1号トンネル (防災・安全交付金 (修繕) 災害防除事業)

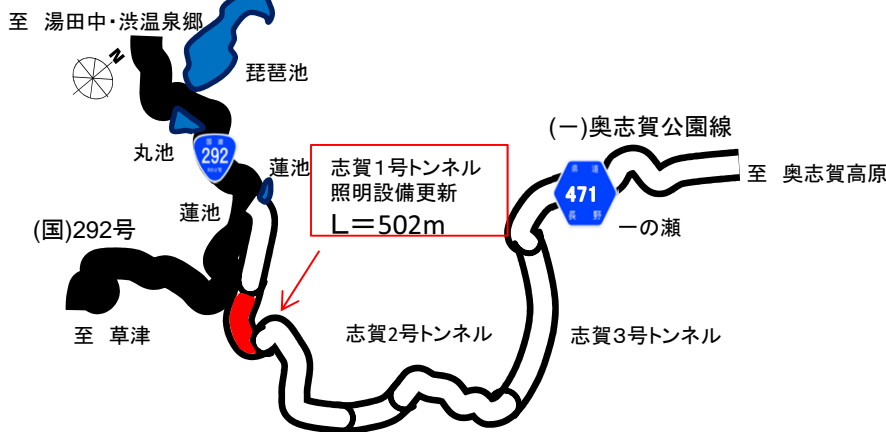
- (一) 奥志賀公園線は、志賀高原蓮池で (国) 292号と分岐し、一の瀬を経由して奥志賀高原に至る重要な観光路線である。
- その路線にある志賀1号トンネルは、照明が暗く感じられるとの道路ユーザーの声より、更新を計画。
- 更新に当たっては、LED照明を採用することにより、照明の長寿命化と電気使用量軽減等の効果を目指し、地球環境にも配慮した安全で快適な通行機能を確保した。



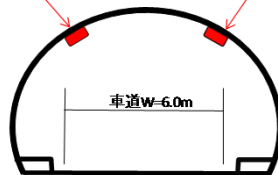
事業概要

事業延長 L=502m
 事業期間 平成24年度～平成25年度
 平成26年3月 完成供用

概要図

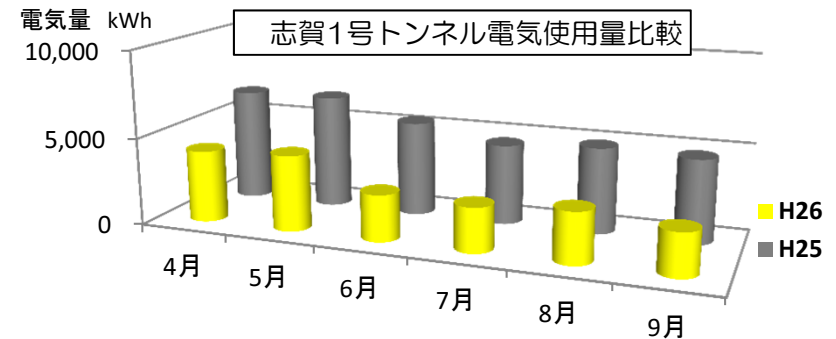


標準横断面図



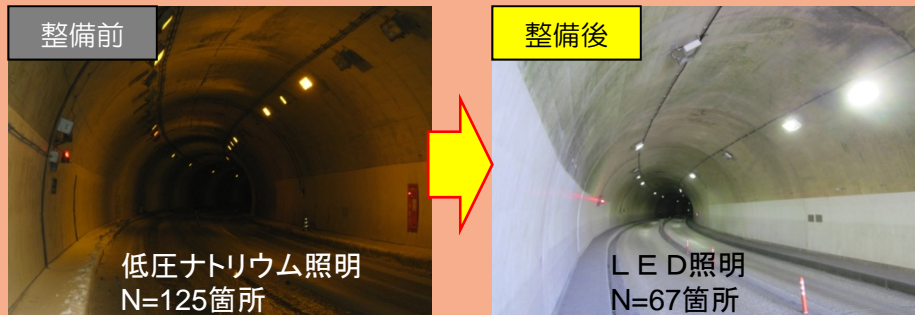
整備効果

更新前(平成25年)と更新後(平成26年)の電気使用量(電気料金)を比較すると確実に減少している。



電気使用量 (kWh)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
H26	(107)	(117)	(86)	(84)	(91)	(81)	(566)
H25	(141)	(146)	(128)	(115)	(122)	(119)	(771)
	6,457	6,513	5,407	4,569	4,898	4,759	32,603

注) 上段()は電気料金(単位:千円)を表す



北信建設事務所 照明LED化事業による波及効果

(一) 奥志賀公園線 山ノ内町 志賀1号トンネル (防災・安全交付金 (修繕) 災害防除事業)

【観光資源の強化と地域経済の発展】
明るくきれいなトンネル照明を提供し、志賀高原を訪れる観光客を迎えるホスピタリティ

- 志賀高原のイメージアップ
- 山岳高原観光地づくりが推進



【豊かな自然環境の保全】

- CO₂排出量の削減による自然環境の保全
[年間CO₂削減量の増⇒約14t]
※排出削減量0.509kg-CO₂/kWh(H25中部電力の係数)として算出
- 紫外線、赤外線が発散が少ないため、ユネスコエコパーク志賀高原の自然環境と道路との調和・共生が促進



【その他】

- 他の照明施設等のLED化の促進
- 長寿命(従前の約10倍)で虫の飛来も抑制できるため、良好な景観を長く保持
- 節電、省エネルギーの取組の推進

